

# 東日本大震災対応記録（大槌町）

東北電力釜石営業所

## 1. はじめに

釜石営業所は5つの変電所と発電所から約15,000本の電柱により38,743戸（54,621人）へ電気を供給してきた。3月11日に発生した巨大地震は経験したこともない巨大津波を発生させ、釜石市・大槌町の沿岸部を一瞬のうちに呑み込み壊滅に至らしめ未曾有の大災害をもたらした。

私たちは発災から復旧に至る困難に立ち向かった釜石営業所の姿を後世に残す責任と継承する義務があり、ここにその記録の一端を記すものである。

## 2. 地震概要

写真01～11

2011年3月11日（金）14時46分に発生した、東北地方・三陸沖を震源とする巨大地震。マグニチュード8を超える激震で、震源に近い宮城県北部では震度7を観測した。

本震の震源地は三陸沖約130キロ、深さは約24キロの地点と発表されている。地震の強さを示すマグニチュードは、当初「8.4」と発表されたが、のちに「8.8」「9.0」と引き上げられた。マグニチュード9.0は、国内の観測史上最大であり、過去100年間の中で世界で4番目に大きな規模となる。※地震のエネルギーは、阪神・淡路大震災の1,000倍といわれている。

本震の発生直後に太平洋沿岸を巨大津波が直撃し壊滅的被害をもたらした。死者14,575人、行方不明者11,324人、負傷者5,277人に及んでいる。釜石営業所管内においては釜石市・大槌町合計で、死者および行方不明者がそれぞれ1,000人以上に及んでいる。日本災害史における死者・行方不明者は、関東大震災の10万5,385人に次ぐものである。これは、阪神・淡路大震災の6,437人を優に超えており、戦後最大の自然災害である。（建物用地に占める浸水率は、大槌町で52%）

### （1）当社全体被害

発生当時の当社管内被害状況は、八戸火力をはじめとする多くの発電所が津波浸水および地震の影響により停止状態となった。また、変電設備・送電設備にも甚大な被害をもたらした。

延べ停電戸数 全社で894万7,739戸

最大停止戸数 465万9,265戸 岩手支店管内で80万9,471戸

釜石営業所管内 3万8,743戸（釜石市・大槌町）

累積稼働人員 16万7,304人（5/13現在）

(2) 釜石営業所の状況（管轄は釜石市および大槌町）

写真12～14

釜石営業所社屋（釜石市大町）も壊滅的被害を受けて釜石市野田に非常災害対策代替本部を立ち上げて電力設備の復旧にあたった。

a. 設備被害概要

写真15～17

上部電源の停電とともに大槌変電所などの発電設備・送電設備・配電設備において浸水・流失・倒壊などの甚大な被害が発生し停電に至った。

（電柱流失：2,900本など）

b. 復旧・送電の対応概要

全区間送電までの主な対応は以下のとおり。

- ①避難，安否確認
- ②代替本部の設置と復旧体制の構築，通信手段の確保・確認
- ③上位機関との連携（本店，岩手支店）
- ④自衛隊，行政との連携
- ⑤応援隊受入，燃料確保
- ⑥電気所回復と巡視および健全区間の送電（送電不可箇所との切り離しを含む）
- ⑦重要施設への応急送電（避難所など）
- ⑧配電線ルート復旧，個別送電
- ⑨営業所機能の回復に向けての対応  
などが挙げられる。

## c. 避難から復旧へ

### 避難

14時46分の地震発生とともに，事前に取り決めていたとおり避難を開始した。15時ころには，営業所所員および関連企業すべて一時避難を終了した。

※事前の取り決めと，2日前に発生した地震の際に避難を行ったことが，迅速な避難行動へと繋がったと判断する。その後，同日に野田へ移動し代替本部を設置した。

### 復旧へ

写真18～26

同日，遠野方面からの応援隊受入れのため，社員が新仙人道路の状況把握を行った。地震の影響で一部損壊しているものの通行可能であったが，自衛隊・警察・消防などの車両の優先道路となっており，旧仙人道路を通行することを確認した。

※当日は，ラジオ・TV・携帯電話のワセグ等により被害状況等の収集・確認のみしかできない状況であった。

○4月12日

青森応援隊，岩手支店管内の応援隊をはじめ，北海道電力からも応援隊が継続して到着した。

○4月13日以降の大槌町送電までの概要

応急用高圧電源車により避難所などの送電を行っていたが，上部電源が回復してきたことから栗橋発電所および釜石変電所から健全区間の個別送電を開始した。

- ・大槌町の避難所（大槌高校，中央公民館，寺野など）の電源車による送電  
高圧応急用電源車による送電と電源復旧 **写真27・28**

大槌高校	3月14日から3月16日
大槌中央公民館	3月16日から3月27日
大槌サッカー場	3月21日から3月27日
吉里吉里地区	3月28日から3月31日

- ・各地区の健全区間や幹線分断個所の配電線の幹線を新設により順次個別送電を実施 **写真29・30**

浪板地区	4月20日送電
吉里吉里地区	4月20日送電
安渡地区	4月20日送電
赤浜地区	4月20日送電

家屋流失地域を除き，大槌町全域は4月27日15時45分に送電を完了した。

### 3. 最後に **写真31～33**

東日本大震災の発生から懸命の復旧作業を続け，約1ヶ月半を要し，流出個所を除く地域に電気を送ることができました。あらためて，大槌町様から多大なるご支援・ご協力に感謝を申し上げます。

弊社にて，東日本大震災の記録をまとめた資料の中に，社員の想いを簡潔に記載したデータがありましたので，情報提供させていただきます。

以上